

政治・経済定点観測レポート

ウズベキスタン NOW

【第 41 号:2016 年 4 月－5 月期】

- * 本レポートは ROTOBO の協力者である現地専門家の執筆によるものです。内容は執筆者の個人的見解であり、ROTOBO の組織的見解とはいかなる意味でも関係ありません。内容の無断転載、引用は堅くお断りします。

経済概況

2016年第1四半期のウズベキスタンのGDP成長率は7.5%

国の財政収支は対GDP比0.1%の黒字であった。物価上昇率は予測値を上回っていないとされている。2016年1～3月期の設備投資は総額8兆400億スム（約27億ドル）、そのうち外国投資・融資は7億3,230万ドルであった。

ウズベキスタン政府は、2016年のGDP成長率は7.8%程度になるとの予測を示している。政府の予測によると、物価上昇率は5.5～6.5%となる見込みである。

アジア開発銀行(ADB)が2016年のウズベキスタンのGDP成長率予測を7%から6.9%に引き下げ

引き下げの理由は、外国市況が良好でないため、そして一部の輸出品目の価格が下落したためである。ADBの予測によると、2017年のGDP成長率は7.3%となる見込みである。2016年の物価上昇率は10%、2017年については11%程度と予測されている。景気減速に影響を与える重要な要因は、ロシア経済が引き続き低迷していることである。

国際通貨基金(IMF)が2016年のウズベキスタンのGDP成長率予測を7%から5%に引き下げ

上記は、『世界経済見通し』レポートの最新版に示された数字である。ウズベキスタンのGDP成長率予測は下方修正されたものの、CIS諸国の中では依然として最も高い。IMFの予測によると、物価上昇率は2015年の8.4%から2016年には8%に下がる見込みである。

欧州復興開発銀行(EBRD)が2016年のウズベキスタンのGDP成長率予測を6.5%に引き下げ

EBRDは、2017年のウズベキスタンのGDP成長率は6.2%になると予測している。同行は、景気減速の理由として、世界市場における価格の下落およびロシアからの送金の

減少に伴う国外要因の影響を挙げている。物価上昇率は、2016年、2017年ともに9%前後になるものと予想されている。

エネルギー・セクター

ウズベクネフチェガスと韓国のGS Engineering & Construction Corporationが総工費45億ドルの工場建設プロジェクトのF/Sを実施中

両社は、ウズベキスタンのブハラ州におけるポリマー工場建設プロジェクトの事前フィージビリティ・スタディ（F/S）を2016年末までに完了する。このコンソーシアムの結成に関する覚書が締結されたのは2015年5月で、F/Sは同年末までに完了する予定であった。F/Sの実施が遅れたのは、エネルギー資源価格が低迷していたためである。

事前評価によると、建設される工場の生産能力は、ポリエチレン25万t、ポリプロピレン50万t、ポリスチレン10万t、合成ゴムとスパンデックスがそれぞれ3万tとなる見込みである。プロジェクト実施期間は5年間で、外国銀行のプロジェクト・ファイナンスによる融資（50%）およびウズベク側の資金により実施される予定である。

ルクオイルがウズベキスタンでカンディム・ガス精製コンプレックスの建設を開始

同コンプレックスは、ブハラ州に位置するカンディム・ガスコンデンセート鉱床群のインフラ開発の一環として建設される主要な生産設備である。年間処理能力81億m³のガス精製プラントのほか、完全稼働時には114基の生産井、11カ所のクラスターサイト、4カ所のギャザリング・ステーションから成る天然ガス採取システムが建設される予定だ。また、370kmのガスパイプラインおよび160kmの自動車道路が敷設される。カンディム・ガスコンデンセート鉱床群は、カンディム、クヴァチ・アラト、アックム、パルサンクリ、ホジ、西ホジの6鉱床から成る。

イランがウズベキスタンの石油生産プロジェクトへの参加に関心を表明

イラン国営企業National Iranian Drilling Company（NIDC）は、ウズベキスタンの石油・ガス開発プロジェクトにかかる入札への参加を申請した。同社のハミド・ボルド特別プロジェクト部長がこのことを発表した。また、同部長は、より積極的に入札に参加するため、同社はタシケントに駐在員事務所を開設したと述べた。

ウズベクネフチェガスとアゼルバイジャンのSOCARが石油・ガス鉱床開発で協力

両社は、第20回見本市・会議「Uzbekistan Oil&Gas-2016」において、協力拡大のためのMOUを締結した。また、両社は、ウズベキスタンの石油・ガス部門に省エネ技術を導入するため、合弁企業の設定を計画している。

ウスチュルト・ガス化学コンプレクスが稼働開始

5月21日、ウズベキスタンのミルジヨエフ首相と韓国の黄教安首相は、カラカルパクスタン共和国のスルギリ鉱床を資源基盤として建設されたウスチュルト・ガス化学コンプレクスの稼働式典に出席した。同コンプレクスの建設は2012年に開始され、ガスの分離、エチレン、ポリエチレン、ポリプロピレンの製造、エネルギー資源の回収を行う5つのプラントおよび近代的なインフラ設備から成る。同コンプレクスでは、年間45億m³の天然ガスを精製し、製品ガス37億m³、ポリエチレン38万7,000 t、ポリプロピレン8万3,000 t、熱分解蒸留物およびその他の製品10万2,000 tが生産される予定である。

ガスプロムがウズベキスタンからのガス購入量を発表

2015年、同社がCIS域外諸国に輸出するために購入したウズベキスタン産ガスは35億m³、カザフスタン南部に供給するための購入量は29億m³であった。同年の平均購入価格は1,000m³当たり180.39ドルに下がった（2014年は259.22ドルであった）。

自動車工業・輸送セクター

MAN Auto Uzbekistanがユーラシア経済連合加盟国向けにダンプカーを生産

ウズベキスタンとドイツの合弁企業MAN Auto Uzbekistanは、ユーラシア経済連合加盟国向けにダンプカーを製造するための認可を取得した。この認可の有効期限は3年間である。同社は、ウズアフトサノアトとMAN Truck & Busにより2009年8月に設立された。ウズベク側は同社の株式の51%、ドイツ側は49%を保有している。年間生産能力はトラック5,000台である。同社では、総重量15~41 tのTGAおよびCLA車（トラクター、ダンプカー、バントラック）を製造している。

2016年4月のロシアにおけるGM Uzbekistanの自動車販売台数は前年同月比5%減

2016年4月のロシア市場におけるGM Uzbekistanの自動車販売台数は1,571台で、2015年4月に比べて5%減少した。2016年1~4月期の販売台数は前年同期比14%減の6,103台であった。ベストセラーは引き続きセダン車Gentraで、同車種の4月の販売台数は1,078台、1~4月期の販売台数は4,386台であった。その結果、Gentraは、ロシア市場で最も人気の高い車種トップ25にランクインした。

大韓航空とウズベキスタン航空がイランとの協力を拡大

テヘランのエマーム・ホメイニー国際空港への新たな貨物輸送サービスの実施が計画されている。ウズベキスタン航空は、2機のボーイング767-300によりテヘラン向け

に週 2 回貨物輸送を行うことが可能である。Korean Air Cargo は、ナヴォイ国際空港経由で貨物を輸送する計画である。

アングレン～パプ間鉄道で初の試験走行に成功

カムチク・トンネル内の鉄道レール接合後、アングレン駅からパプ駅までの初の車両試験走行が行われた。アングレン～パプ間鉄道は全長 123.1km で、その一部は 19.1km のトンネルである。現在、専門家らがプロジェクトの最終段階である機材の調整に取り組むとともに、電化作業を完了しつつある。

その他のセクター

ウズベキスタンは 2021 年までに食品産業の発展に 6 億ドルを投資

この資金は、資源基盤のさらなる発展、野菜・果実・肉・乳製品の加工の高度化および食品の生産と輸出の拡大にかかる 2016～2020 年の施策の実施に充てられる。合計 180 件の投資プロジェクトが実施される予定である。このプログラムの実施により、生鮮および加工済みの野菜・果実製品の輸出は 2.7 倍以上に、そのうち缶詰、濃縮液、搾汁の輸出は 2.5 倍に増加する見込みである。野菜・果実製品の加工、保管および輸送を行う販売・物流センター 15 カ所（総取扱能力 6 万 t）の開設が計画されている。

ロシアがウズベキスタンの軽工業製品の主要輸出先の一つに

2016 年第 1 四半期には、約 1 億ドル相当のウズベキスタン製品がロシアに輸出された。軽工業製品の輸出相手国に占めるロシア市場の割合は 40% を上回った。また、輸出品目に占める既製品（子供服、上着、ニット製品、下着）の割合が拡大している。ウズベキスタンのメーカーは、ロシアの最大手小売チェーン（ピャチョロチカ、コンチネントなど）と提携することにより、ロシア全国の広範な販売網へのアクセスを獲得している。ウズベキスタンは、靴および様々な皮革製品のロシア向け輸出の拡大も計画している。今年末までに、モスクワだけでも 5 カ所の商業施設のオープンが予定されている。